

播陽証券 =注目・外株銘柄=

(2025年11月)

【米国市場・20銘柄掲載】

<新規>

P1【半導体】 アドバンスト・マイクロ・デバイセズ(AMD)

P2【通信】 ベライゾン・コミュニケーションズ(VZ)

<継続>

P3【マグニフィセント7】 エヌビディア(NVDA)

P4【マグニフィセント7】 マイクロソフト(MSFT)

P5【マグニフィセント7】 アップル(AAPL)

P6【マグニフィセント7】 アルファベット(GOOGL)

P7【マグニフィセント7】 アマゾン・ドット・コム(AMZN)

P8【マグニフィセント7】 メタ・プラットフォームズ(META)

P9【マグニフィセント7】 テスラ(TSLA)

P10【半導体】 ブロードコム(AVGO)

P11【ソフトウェア】 オラクル(ORCL)

P12【ITサービス】 IBM(IBM)

P13【動画配信】 ネットフリックス(NFLX)

P14【セキュリティ】 クラウドフレア(NET)

P15【航空・防衛】 RTX(RTX)

P16【データ解析】 パランティア・テクノロジーズ(PLTR)

P17【電力設備】 GEベルノバ(GEV)

P18【金融】 JPモルガン・チェース(JPM)

P19【フィンテック】 ロビンフッド・マーケット(HOOD)

P20【フィンテック】 ソーファイ・テクノロジー(SOFI)

(株価データ、株価指標は現地2025年10月30日現在)

<新規>

米ロジック半導体大手

米携帯電話加入件数首位の通信大手

<継続>

時価総額トップとなった、画像処理半導体(GPU)開発企業
ソフトウェア世界最大手

デジタルIT機器の設計・販売大手

インターネット検索世界最大手

インターネット小売世界最大手

SNS運営世界最大手

米電気自動車(EV)大手

企業インフラソフトも手掛ける、通信用半導体世界大手

データ管理ソフト世界最大手、クラウド市場で大躍進

長年の連続増配実績を持つIT業界の老舗企業

動画配信の世界最大手

インターネット上の通信高速化・セキュリティ分野で躍進

航空宇宙・防衛まで手掛ける巨大コングロマリット

防衛から民間まで広範にデータ分析プラットフォームを提供

GEから分離した電力設備の世界大手

総合金融サービス最大手

若者を惹きつける株式等の総合金融プラットフォーマー

SB出資の学生・住宅ローンを提供するグロース企業

インテルやエヌビディアのライバル半導体メーカー、市場シェア獲得に期待

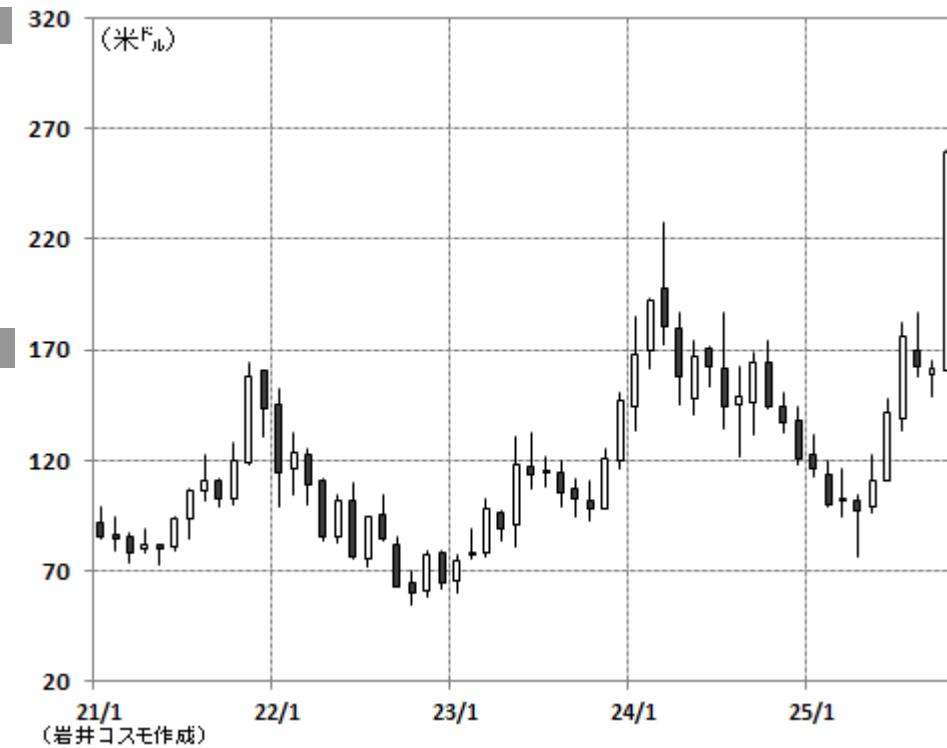
会社概要

1969年設立の老舗半導体メーカー。現在は演算処理(CPU)・画像処理用半導体(GPU)、チップセットの開発・販売専業企業。2006年にGPU大手のATI社を買収、2011年に画像処理機能統合型半導体APUを市場投入。APUは最新「Xbox シリーズX/S」、「プレイステーション5」等に採用され、据置型ゲーム機市場で存在感。22年にはプログラマブル半導体に強みを持つ同業のザイリンクスを買収した。

注目ポイント

□**インテルやエヌビディアの牙城に迫る**: AMDはインテルのCPUやエヌビディアのGPUに対抗製品を提供できる稀有な存在。PC向けに加え、特にデータセンター向けCPU「EPYC」がインテルのシェアを切り崩し好調を維持。AI向けGPU分野では依然エヌビディアが圧倒的だが、AMDも高性能品で猛追し、その牙城の切り崩しを画策する。

□**オープンAIとAI半導体で大型契約**: AMDはAIアクセラレータ「MI300」シリーズに続き「MI350」の出荷も本格化。10月にはオープンAIと、次世代機「MI450」を含む複数世代のGPU大規模導入で戦略的提携を発表。契約は数百億ドル規模と見られAI市場の巨大需要を獲得した。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	254.84 (10/30)
52週高値(日付)	267.05 (25/10/29)
52週安値(日付)	76.49 (25/04/08)
時価総額	4,136億ドル 63兆7,428億円
株価変化率(%)	161.8 (過去6ヶ月間) 76.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	139.6 (倍)
株価売上高比率	14.0 (倍)
PBR	6.9 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	4.9 (%)
株式ペーテ	1.59 (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/12	22,680	-4	401	-68	854	-35	0.53
2024/12	25,785	14	1,900	374	1,641	92	1.00
四半期業績							
2024/Q2	5,835	—	269	—	265	—	0.16
2025/Q2	7,685	32	-134	赤転	872	3.3倍	0.54

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

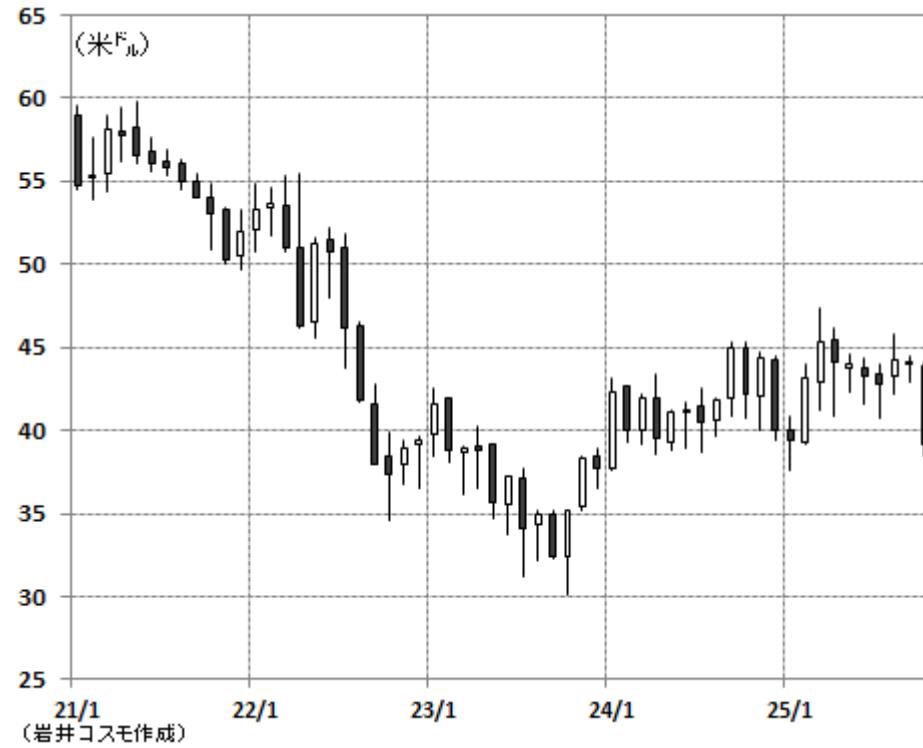
会社概要

固定・携帯通信双方を手掛け、消費者とビジネス向けにサービスを開。同社は携帯加入者数首位で、TモバイルUS、AT&Tと並ぶ通信3強を形成。24年9月末の携帯端末(後払い方式)の契約件数は1.26億件。固定通信事業では消費者向けに音声通話・ネット回線等を法人向けにはデータセンター等も提供。本社はニューヨーク、社員数は約100,200名(25年9月末)。NYダウ工業株30種平均構成銘柄。

注目ポイント

□**サブスク格安選択プランを推進**: 料金体系「マイプラン」はサブスク選択制が好評で、プロードバンド通信でも展開中。一方、競争激化を受け25年10月、ペイパル元CEOのシュルマン氏が新CEOに就任。テクノロジーと通信の経験を生かし、契約者増と業務近代化の加速を図る。

□**19年連続増配は米通信業界最長**: 9月5日に増配を発表、米通信業界最長となる19年連続の増配となる。25年の設備投資は175億～185億ドルと高水準を維持しつつ、25年通年のフリー・キャッシュフロー見通しを約195億ドル超に引き上げるなど、潤沢なキャッシュ創出力を維持。引き続き配当による株主還元を重視する。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	38.96 (10/30)
52週高値(日付)	47.355 (25/03/10)
52週安値(日付)	37.59 (25/01/10)
時価総額	1,643億ドル 25兆3,192億円
株価変化率(%)	-11.6 (過去6ヶ月間) -7.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	8.5 (倍)
株価売上高比率	1.2 (倍)
PBR	1.6 (倍)
税前配当利回り(%)	7.09 (直近年率)
配当成長率(%)	1.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	19.7 (%)
株式ベータ	0.52 (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/12	133,974	-2	22,877	-25	11,614	-45	2.75
2024/12	134,788	1	28,686	25	17,506	51	4.14
四半期業績							
2024/Q3	33,330	—	5,926	—	3,306	—	0.78
2025/Q3	33,821	1	8,105	37	4,950	50	1.17

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

エヌビディア(NVDA)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体開発

生成AI(人工知能)に欠かせない超高性能半導体を開発、AI分野で主導権を掌握へ

会社概要

1993年設立の米国の半導体メーカー。コンピュータのグラフィックス処理や演算処理の高速化を主な目的とするGPU(画像処理半導体)を設計・開発する。自社で製造を行なわないファブレスメーカーで台湾セミコンダクターや韓国サムスン電子に製造を委託。用途別売上構成は、AIを含むデータセンター向けが88%、ゲーム市場向けが9%、プロ向けの視覚化技術が1.4%、自動車向けが1.3%、OEM&IPが0.3%(25年1月期)。

注目ポイント

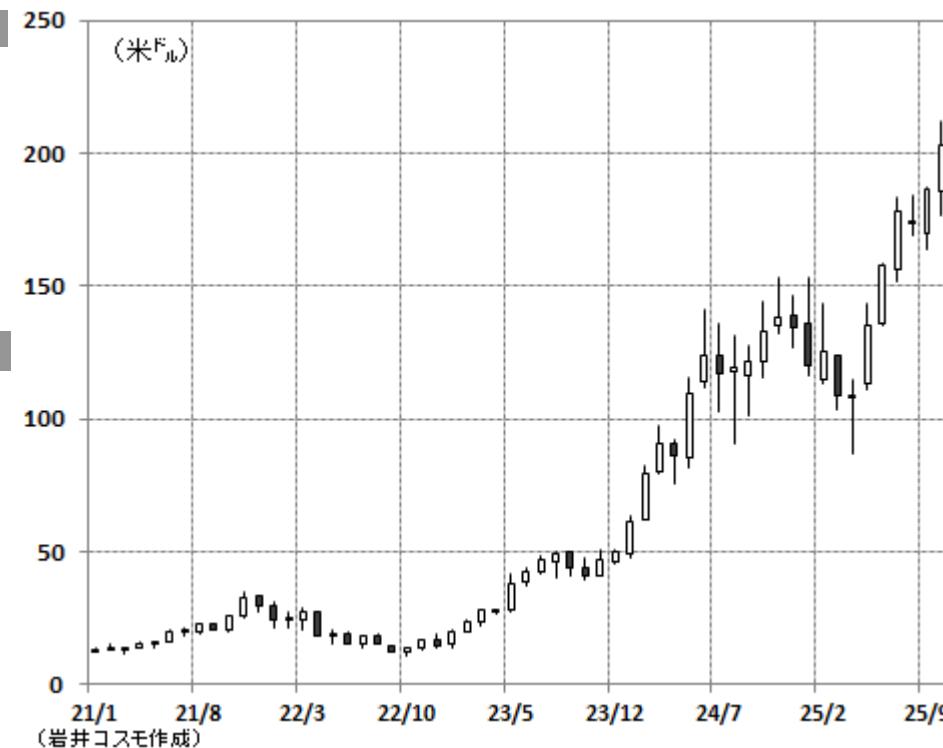
□**AI半導体で主導権**: AIの計算処理に同社の半導体が広く利用され、コア(処理装置)を多数連結した高性能・最高級GPUの販売単価は数万ドルするが今やAIインフラの必須アイテム。AI計算の開発環境やGPUと共に動くCPU、人型ロボットの基盤モデル等も開発する。10月開催のGTCでファンCEOは、現行GPUのブラックウェルと次世代ルーピンの26年末までの累計収益が5,000億ドルを超える見通しを示した。

□**オーブンAIに最大1000億ドル投資**: オーブンAIが進める10GW規模のデータセンター構築を支援、自社製AIチップの利用を確保する計画。9月に両社が意向表明書に署名、投資は段階的でまず100億ドルを現金出資する。本提携でオーブンAIを主要顧客としてつなぎ留めを狙う。

株価データ	
株価(米ドル)	202.89 (10/30)
52週高値(日付)	212.15 (25/10/29)
52週安値(日付)	86.63 (25/04/07)
時価総額	4兆9,302億ドル 759兆8959億円
株価変化率(%)	86.3 (過去6ヶ月間) 52.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	59.4 (倍)
株価売上高比率	30.0 (倍)
PBR	49.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.02 (直近年率)
配当成長率(%)	42.9 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	109.4 (%)
株式ペーテ	1.89 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)



株価チャート(2021年以降・月足)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/01	60,922	126	32,972	681	29,760	581	1.19	0.016
2025/01	130,497	114	81,453	147	72,880	145	2.94	0.034

四半期業績

2025/Q2	30,040	—	18,642	—	16,599	—	0.67	0.010
2026/Q2	46,743	56	28,440	53	26,422	59	1.08	0.010

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

マイクロソフト(MSFT)

上場市場

NASDAQ

セクター

ソフトウェア

ソフトウェア世界最大手、生成AI技術実装・クラウド事業で成長回帰へ

会社概要

ソフトウェア世界最大手。1975年創業。80～90年代にウンドウズ(OS: 基本ソフト)とオフィス(ワード、エクセル等)で急成長。ほかゲームやネット広告等も手掛け、企業から消費者向けまで幅広く事業を展開。2016年12月にビジネス向けSNSサイトの「リンクイン」を買収。2014年に就任したナデラCEOのもと、デバイス・サービス戦略から生産性やモバイル、クラウドを重視した経営に軸足を移している。

注目ポイント

□ **クラウド事業の拡大が奏功**: MSはクラウドインフラ市場(IaaS)で首位。アマゾンウェブサービス(AWS)に次ぐ位置にあり、2強体制を構築。ワードやエクセル等クラウド版の「オフィス365」やデータ受託管理のクラウド「アジュール」、リンクイン等が成長をけん引。クラウド需要のひつ迫が続き、AI向けデータセンターを中心にクラウドインフラの供給能力の拡充を推進中。

□ **オープンAIの筆頭株主**: オープンAIの組織再編が10月に完了、MSはオープンAIの筆頭株主(27%保有)で2032年までの提携延長、巨額の資金提供を見返りに「ChatGPT」等の自社製品組込を継続する。7～9月期の「アジュール・他クラウドサービス」部門は39%増(為替変動除く)と高成長を維持。製品全体でのAI機能利用者は9億人を突破した。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	525.76 (10/30)
52週高値(日付)	555 (25/07/31)
52週安値(日付)	344.83 (25/04/07)
時価総額	3兆9,076億ドル 602兆2856億円
株価変化率(%)	33.0 (過去6ヶ月間) 29.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	37.2 (倍)
株価売上高比率	13.3 (倍)
PBR	10.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.69 (直近年率)
配当成長率(%)	10.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.2 (%)
株式ペーダ	0.99 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/06	245,122	16	109,433	24	88,136	22	11.80	3.00
2025/06	281,724	15	128,528	17	101,832	16	13.64	3.24

四半期業績

2025/Q1	65,585	—	30,552	—	24,667	—	3.30	0.75
2026/Q1	77,673	18	37,961	24	27,747	12	3.72	0.83

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

アップル(AAPL)

上場市場

NASDAQ

セクター

IT機器

スマートフォン等のデジタル機器の設計・販売大手、高いブランド力が強み

会社概要

スマートフォン(スマホ)「アイフォン」や、タブレットPC「アイパッド」などデジタルIT機器を設計・販売。1977年に設立。スティーブ・ジョブズ氏が1997年に復帰し、次々と革新性のある製品投入、再興を果たす。2011年のジョブズ氏没後は現クックCEO体制へ、2012年以降は大規模な株主還元策を開始。独自の基本ソフト開発やアプリ販売等で他社と一線を画す。2015年3月、NYダウ工業株平均に採用された。

注目ポイント

□**アップル版生成AI(日本語版)開始**: 生成AI「アップルインテリジェンス」が日本語に対応し、絵文字作成機能や音声指示機能を4月1日より提供開始した。ただより高度な分析機能は米国でも未提供で競合のオーブンAIやグーグルに後れを取っている。6月開催の年次開発者会議では、電話やフェイスタイムのライブ翻訳機能が発表された。

□**クリスマス商戦に強気**: アップルは10-12月期売上高が前年同期比10-12%増(市場予想6%超)と好調な見通しを示唆。同四半期のアイフォン売上は2桁増と過去最高を見込む。7-9月期の売上高実績は1025億ドル(7.9%増)で予想を上回った。9月に「アイフォン17」シリーズを販売開始、初めて薄型「アイフォンエアー」を投入した。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	271.4 (10/30)
52週高値(日付)	274.13 (25/10/30)
52週安値(日付)	169.22 (25/04/08)
時価総額	4兆0,277億ドル 620兆7866億円
株価変化率(%)	27.7 (過去6ヶ月間) 20.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	36.3 (倍)
株価売上高比率	9.8 (倍)
PBR	54.4 (倍)
税前配当利回り(%)	0.38 (直近年率)
配当成長率(%)	4.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	171.4 (%)
株式ペーテ	1.10 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/09	391,035	2	123,216	8	93,736	-3	6.08	0.98
2025/09	416,161	6	133,050	8	112,010	19	7.46	1.02

四半期業績

2024/Q4	94,930	—	29,591	—	14,736	—	0.97	0.25
2025/Q4	102,466	8	32,427	10	27,466	86	1.85	0.26

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

インターネット検索サービス世界最大手、ネット広告以外の収益基盤拡大も進行

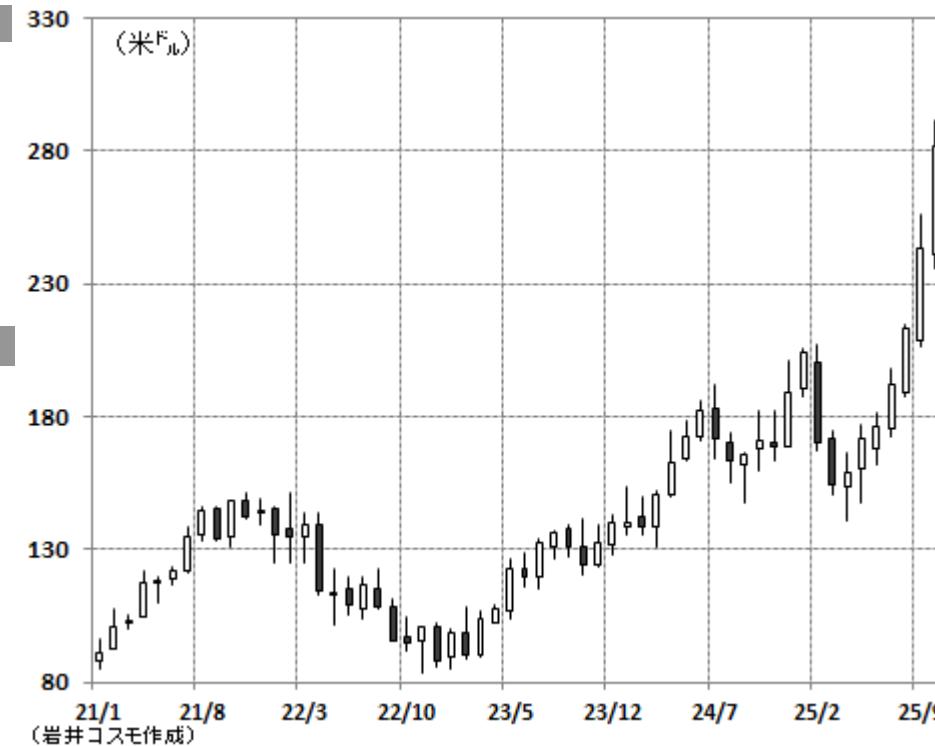
会社概要

ネット検索サービス世界最大手「グーグル」を傘下に置く持株会社。97年にサービス開始、04年8月上場。検索広告が主要収入源。革新力で定評があり、モバイル端末の無料基本ソフト「アンドロイド」は、同社の開発。また自動運転車などを社内で育成中。またアプリ・コンテンツ販売やクロームブック事業、クラウド型ビジネス向けソフトなどの事業展開も。本社はカリフォルニア州、従業員数は190,167人(25年9月末)。

注目ポイント

□**複数のAI製品を積極展開**: 7-9月期に生成AI「Gemini」アプリの月間利用者は6.5億人に到達、クラウドAI製品は四半期で数十億ドルの売上に達した。検索はAIがクリエイティブ成長を促進、検索サービス売上は前年同期比15%増と堅調維持。サブスク事業は「Google One」などが好調で、有料契約数は3億件を突破。無人ロボタクシ-のウェイモは26年に東京など、複数の都市での展開を計画。開発者向けツールも拡充し、生成AI利用の開発者は1300万人を超えた。

□**クローム事業売却回避**: 米司法省との独禁法訴訟で9月に判決が下り、閲覧ソフト「クローム」事業の売却は不要、検索エンジンを初期設定するアップルへの報酬も認められる一方、データ共有の是正策が命じられた。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	281.48 (10/30)
52週高値(日付)	291.41 (25/10/30)
52週安値(日付)	140.53 (25/04/07)
時価総額	3兆3,991億ドル 523兆8982億円
株価変化率(%)	77.3 (過去6ヶ月間) 64.5 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	32.3 (倍)
株価売上高比率	8.9 (倍)
PBR	8.8 (倍)
税前配当利回り(%)	0.30 (直近年率)
配当成長率(%)	105.0 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	35.5 (%)
株式ペーテ	1.04 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	307,394	9	84,293	13	73,795	23	5.80	0.00
2024/12	350,018	14	84,293	33	100,118	36	8.04	0.60

四半期業績

2024/Q3	88,268	—	28,521	—	26,301	—	2.12	0.20
2025/Q3	102,346	16	31,228	9	34,979	33	2.87	0.21

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

アマゾン・ドット・コム(AMZN)

上場市場

ナスダック

セクター

インターネット小売

インターネット小売世界最大手、ネット通販とクラウド受託サービス事業の双方で競争優位

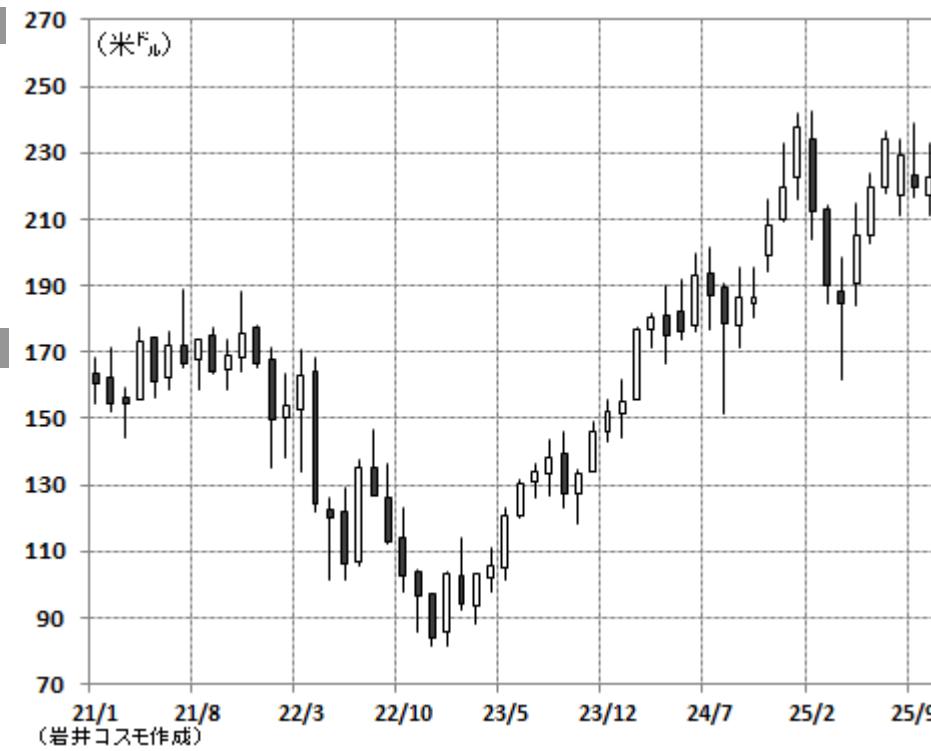
会社概要

インターネット小売世界最大手。ジェフ・ベゾス氏が設立、1995年にサービス開始。書籍中心の取扱いから急速に品揃えを拡充。電子書籍端末「キンドルファイア」シリーズ等を投入、新市場開拓に意欲的。世界で個人有料会員は2億人を超える、動画や音楽の配信サービスを提供、法人向けのデータセンター利用サービスでも存在感が高い。本社はワシントン州シアトル。2024年2月、NYダウ工業株30種平均に採用された。

注目ポイント

□ **AWSが再加速**: 7-9月期決算は、AWS(クラウド)事業が前年同期比20%増収(330億ドル)と、市場予想(18%増)を上回り22年末以来の高い伸び。会社全体の売上高も13%増の1802億ドルで予想を上回った。広告事業は24%増(177億ドル)と好調維持。オンラインストアも10%増収となった。一方、AI関連の投資増で設備投資は61%増(342億ドル)と過去最高となり、増加基調が続く見通し。

□ **AI事業の貢献期待**: CEOはAI事業の勢いを強調、小売アプリのAIチャットボット「ルーファス」が年100億ドルの追加売上をもたらすと試算。企業向けAI基盤「ベッドロック」も主要収益源になるとの見方を示した。本部の人員削減にも着手、更なる収益性改善を目指す。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	222.86 (10/30)
52週高値(日付)	242.51 (25/02/04)
52週安値(日付)	161.56 (25/04/07)
時価総額	2兆3,768億ドル 366兆3335億円
株価変化率(%)	20.8 (過去6ヶ月間) 19.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	33.3 (倍)
株価売上高比率	3.4 (倍)
PBR	6.4 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	24.3 (%)
株式ベータ	1.25 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	574,785	12	36,852	201	30,425	黒転	2.90	0.00
2024/12	637,959	11	68,593	86	59,248	95	5.53	0.00

四半期業績

2024/Q3	158,877	—	17,411	—	15,328	—	1.43	0.00
2025/Q3	180,169	13	17,422	0	21,187	38	1.95	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

世界最大のSNS運営会社。2004年設立、毎日利用する会員数(インスタグラムなども含む)は全世界で35.4億人(25年7-9月期)。マーク・ザッカーバーグ氏が大学在学時代に立ち上げ、サクセス・ストーリーは映画化された。2021年に社名を「フェイスブック」から現在の「メタ・プラットフォームズ」に変更し、メタバースに注力する姿勢を鮮明にした。本社はカリフォルニア州メンロパーク、従業員数は78,450人(25年9月末時点)。

注目ポイント

□**AI活用で增收も、投資負担増:** 7-9月期の前年同期比・增收率は+26%と高成長を記録した。AI活用による広告性能の向上を背景に、広告単価が+10%、広告表示回数も+14%と好調を維持。AIアシスタント「Meta AI」の月間利用者は10億人を超えた。一方、AIインフラ投資が響き、営業利益率は40%と前年同期(43%)から低下した。

□**超知能開発へ投資加速:** パーソナル超知能の開発を目指しAIインフラ投資を加速。25年設備投資額を700-720億ドルに引き上げ、26年の伸びは25年比で「著しく大きく」、総費用も「大幅に速いペース」で増加するとの見方を示し、積極的な投資姿勢を鮮明にした。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	666.47 (10/30)
52週高値(日付)	796.21 (25/08/15)
52週安値(日付)	479.89 (25/04/21)
時価総額	1兆6,802億ドル
	258兆9717億円
株価変化率(%)	21.4 (過去6ヶ月間)
	17.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	23.3 (倍)
株価売上高比率	8.9 (倍)
PBR	8.7 (倍)
税前配当利回り(%)	0.32 (直近年率)
配当成長率(%)	38.3 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	32.6 (%)
株式ペーテ	1.18 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高(百万ドル)	前同比(%)	営業利益(百万ドル)	前同比(%)	当期利益(百万ドル)	前同比(%)	1株利益(ドル)	配当(ドル)
2023/12	134,902	16	46,751	62	39,098	69	14.87	0.00
2024/12	164,501	22	69,380	48	62,360	59	23.86	2.00

四半期業績

2024/Q3	40,589	—	17,350	—	15,688	—	6.03	0.50
2025/Q3	51,242	26	20,535	18	2,709	-83	1.05	0.525

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

テスラ(TSLA)

従来の概念を覆す電気自動車メーカー世界大手

会社概要

2003年創業の世界的な電気自動車(EV)メーカー。高速・長距離走行が可能なEVの大量生産・開発を行う。2017年2月に社名を「テスラ・モーターズ」から「テスラ」に変更。24年のEV納車台数は前期比1%減の179万台。CEOのイーロン・マスク氏はトランプ大統領と関係性が深く、宇宙開発ベンチャーのスペースXのCEOを兼任する等、世界を代表するカリスマ経営者として知られる。S&P500種指数採用銘柄。

注目ポイント

□**マスク氏企業経営に専念**: マスク氏の政治発言等への懸念や競争激化の中、25年7-9月期は記録的な納車台数(約49.7万台)を達成。マスク氏はDOGE業務を終了し企業経営に専念、5年後もCEO続投見通し。6月にトランプ大統領と減税法案で口論、袂を分かつ。自動運転の規制緩和のみが成果に。

□**AI・ロボタクシー投資を拡大**: 7-9月期決算は売上高過去最高も、調整後1株利益は予想を下回った。米EV補助金失効など需要軟化に対応し廉価版を発表。一方、AI・ロボット投資の大幅増を計画。ロボタクシーは25年末までにオースティンでの補助人員無し運行、8~10都市圏への展開を目指す。ロボタクシー専用車は26年第2四半期の生産開始予定。

株価データ	
株価(米ドル)	440.1 (10/30)
52週高値(日付)	488.5 (24/12/18)
52週安値(日付)	214.25 (25/04/07)
時価総額	1兆4,637億ドル 225兆5990億円
株価変化率(%)	56.0 (過去6ヶ月間) 76.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	316.5 (倍)
株価売上高比率	14.8 (倍)
PBR	18.3 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	7.0 (%)
株式ペーパー	1.57 (対S&P500)

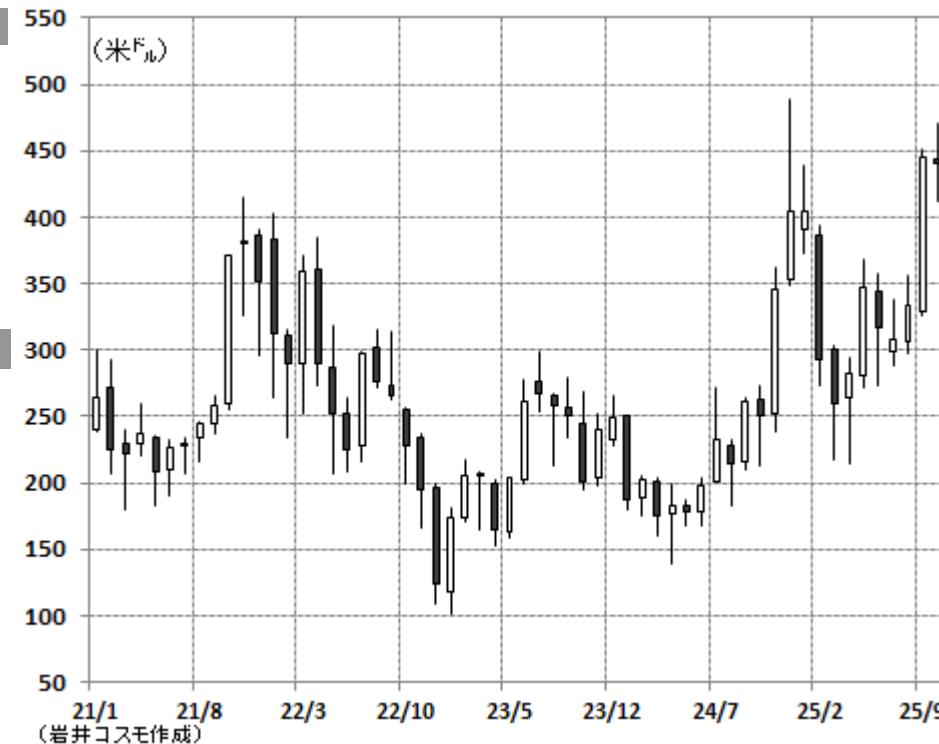
(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

上場市場

ナスダック

セクター

自動車



株価チャート(2021年以降・月足)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	96,773	19	8,891	-35	14,997	19	4.30	0.00
2024/12	97,690	1	7,076	-20	7,091	-53	2.04	0.00

四半期業績

2024/Q3	25,182	—	2,717	—	2,173	—	0.62	0.00
2025/Q3	28,095	12	1,624	-40	1,373	-37	0.39	0.00

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

ブロードコム(AVGO)

上場市場

ナスダック

セクター

半導体

通信用半導体大手。カスタム半導体と高速ネットワーク機器用のAI半導体が急成長

会社概要

2016年に半導体企業アバゴが旧ブロードコムを買収して誕生した通信用半導体大手。WiFi/Bluetooth/GPUや各種ネットワーク機器用半導体を手掛け、有力アップルサプライヤーでもある。M&A巧者として知られ18年以降、CAやシマンテックの法人部門、VMウェアといった企業インフラソフト企業を次々取得。売上高構成のうち半導体が6割、ソフトウェアが4割となった。情報インフラ技術をリードする世界有数の企業を目指す。

注目ポイント

□**カスタム半導体等のAI半導体を供給**: 巨大なデータセンターを持つ、複数のIT大手にAIの演算処理を行うカスタムASIC(特定用途集積回路)を提供、カスタム半導体分野のトップ企業として知られる。またAIサーバー同士をつなぐ高速ネットワーク機器に搭載される半導体も供給する。

□**AI半導体の顧客増加で業界優位に**: カスタムAIアクセラレータ(XPU)や高速ネットワーク機器向けが好調な同社のAI半導体は、5-7月期に前年同期比63%増の52億ドルを記録、8-10月期は62億ドルを見込む。会社側は26年度のAI半導体の成長率は25年度を上回り加速するとの見方を示した。10月にオーブンAIとAIチップ共同開発で提携したと発表、26年後半からAI計算機・ネットワーク用部品を提供する。



株価チャート (2021年以降・月足)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/10	35,819	8	16,207	14	14,082	25	3.30	1.840
2024/10	51,574	44	13,463	-17	5,895	-58	1.23	2.105

四半期業績

2024/Q3	13,072	—	3,788	—	-1,875	—	-0.40	0.525
2025/Q3	15,952	22	5,887	55	4,140	黒転	0.85	0.590

株価データ	
株価(米ドル)	376.47 (10/30)
52週高値(日付)	386.46 (25/10/29)
52週安値(日付)	138.11 (25/04/07)
時価総額	1兆7,778億ドル 2.74兆0,167億円
株価変化率(%)	95.6 (過去6ヶ月間) 121.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	91.4 (倍)
株価売上高比率	29.5 (倍)
PBR	24.3 (倍)
税前配当利回り(%)	0.63 (直近年率)
配成長率(%)	12.1 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	27.3 (%)
株式ベータ	2.02 (対S&P500)

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

オラクル(ORCL)

上場市場

ニューヨーク

セクター

基盤ソフトウェア

データ管理ソフト世界最大手、インフラクラウド市場で大躍進

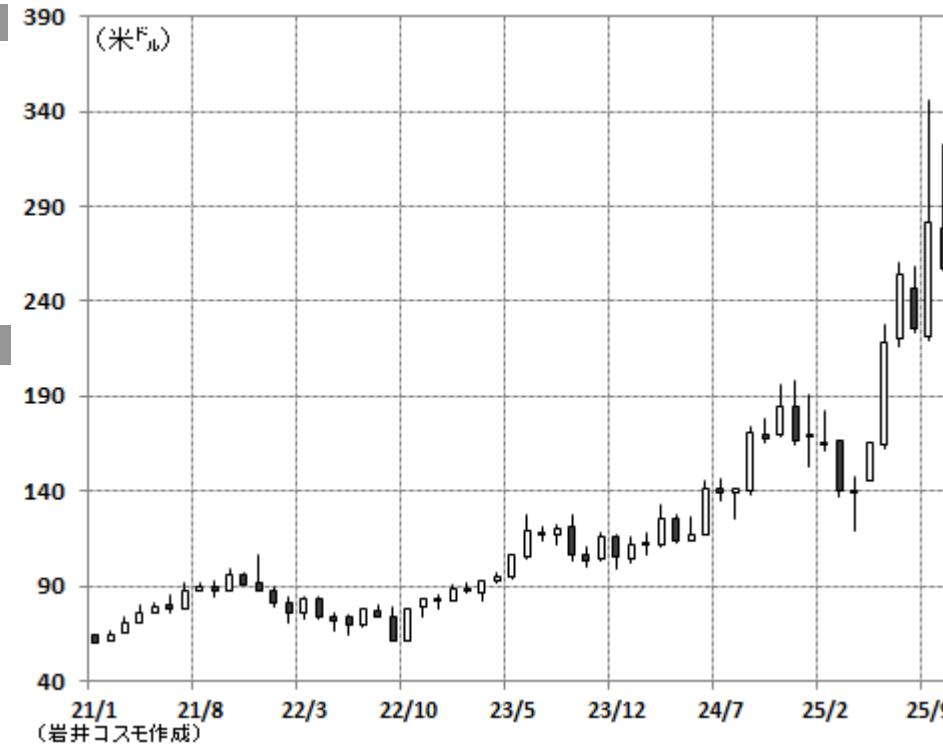
会社概要

1977年創業のマイクロソフトに次ぐ、世界2位のソフトウェア会社。法人向けデータベース管理システム(DNMS)が代表製品でデータ保護等の安全性や拡張性の高さが特長。2005年に基幹業務システムのピープルソフト買収後はM&Aを積極化、業務用ソフトを強化。2010年にサン・マイクロを買収、サーバー市場分野に進出。近年はサブスク型のクラウドサービスへのシフトを進める。創業者兼会長のラリー・エリソン氏が筆頭株主。

注目ポイント

□ **マルチクラウド戦略で大躍進**: オラクルはAWS等の大規模クラウド業者と連携を強化、顧客が複数のクラウド環境を円滑に統合・活用するソリューションを提供。自社の高性能データベースを他社クラウド上で直接利用できる様にし、効率性や耐障害性を高める取り組みが奏功する。

□ **クラウド受注が急増**: 8月末の受注残は1年前比約4.6倍の4,550億ドルに急増、オープンAIの3,000億ドル規模の契約があったと報じられた。10月のIRイベントでAI戦略を強調、クラウドインフラ事業は今期(26年5月期)77%増、30年度には1,440億ドルに拡大、粗利益率35%の見込みとした。またトランプ政権主導の「ティックトック」米国事業買収にも他の投資家と共に関与、取引完了が近いと報じられた。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	256.89 (10/30)
52週高値(日付)	345.69 (25/09/10)
52週安値(日付)	119.01 (25/04/07)
時価総額	7,323億ドル 1,12兆8,756億円
株価変化率(%)	82.6 (過去6ヶ月間) 53.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	57.3 (倍)
株価売上高比率	12.2 (倍)
PBR	30.2 (倍)
税前配当利回り(%)	0.78 (直近年率)
配当成長率(%)	18.8 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	71.2 (%)
株式ペーパー	1.30 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/05	52,961	6	15,353	17	10,467	23	3.71	1.60
2025/05	57,399	8	17,678	15	12,443	19	4.34	1.70

四半期業績

2025/Q1	13,307	—	3,991	—	2,929	—	1.03	0.40
2026/Q1	14,926	12	4,277	7	2,927	-0.1	1.01	0.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

IBM(IBM)

上場市場

ニューヨーク

セクター

ITサービス

IT(情報技術)業界の老舗 融合型クラウドやAI分野で収益基盤を再構築

会社概要

1910年設立。老舗企業でコンピューターサービス大手。米国特許の取得件数の年間ランキングで上位の常連組。1960~70年代にメインフレーム(大型汎用コンピュータ)事業で一世代を築いた。近年は「ビッグデータ」分析やAIスパコン「ワトソン」で業界の新潮流を生んだものの、クラウド化ではアマゾン等に後塵を拝した。NYダウ工業株平均及び、25年以上連続増配企業からなるS&P500配当貴族指数の構成銘柄。

注目ポイント

□**ハイブリッドクラウドとAIを強化**: 2019年にオーブンソースソフト大手レッドハットを買収後、ITインフラ事業を分社化し、自社運用とクラウドを融合した「ハイブリッドクラウド」とAI分野へ経営資源を集中。また日本の次世代半導体企業ラピダスへの技術供与も行うほか、29年までに耐障害性量子コンピュータを構築するロードマップも発表。現在の主力事業を強化しつつ、次世代のコンピューティング分野でリーダーシップ確立を目指す。

□**生成AIの受注増加**: 7~9月期は市場予想の増収。ワトソンXやAIコンサル等の生成AI関連の累計受注額は9月末時点で95億ドル超と、3ヶ月で15億ドル超増加。新型メインフレーム「IBM Z」の投入効果も本格貢献、通期の増収率見通しを従来の5%から5%超へと引き上げた。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ

株価データ	
株価(米ドル)	310.06 (10/30)
52週高値(日付)	319.35 (25/10/28)
52週安値(日付)	203.61 (24/10/31)
時価総額	2,898億ドル 44兆6,706億円
株価変化率(%)	28.2 (過去6ヶ月間) 50.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	28.5 (倍)
株価売上高比率	4.4 (倍)
PBR	10.4 (倍)
税前配当利回り(%)	2.17 (直近年率)
配当成長率(%)	0.6 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	30.2 (%)
株式ペーテ	0.77 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	61,860	2	8,690	7.5倍	7,502	4.6倍	8.14	6.63
2024/12	62,753	1	5,797	-33	6,023	-20	6.43	6.67

四半期業績

2024/Q3	14,968	—	-802	—	-330	—	-0.36	1.67
2025/Q3	16,331	9	2,430	黒転	1,744	黒転	1.84	1.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

ネットフリックス(NFLX)

上場市場

NASDAQ

セクター

インターネットサービス

動画配信サービス最大手、オリジナルコンテンツ拡充と広告付きプランで収益拡大を目指す

会社概要

1997年創立。映画やTV番組のネット配信(ストリーミング)を手掛ける。祖業はネット宅配DVDレンタルだが、現在は完全に動画配信にシフト。映画、テレビ番組を豊富に揃えるが、近年は自社制作番組を強化。

2021年に韓国ドラマ「イカゲーム」が世界的に大ヒットするなど、オリジナル・コンテンツの影響力は年々拡大。22年11月から広告付きプランの提供を開始。24年末時点の会員数は全世界で約3.03億人。

注目ポイント

□**時価総額1兆ドルを目指す**: 3月の年次経営会議で2030年までに時価総額1兆ドルを達成し、売上高を2倍にすることを目標に掲げたと報じられた。30年までに通期売上高を24年の390億ドルから倍増させ、うち広収入は約90億ドルに拡大させるという。7-9月期は会員数の堅調な伸びや値上げ、広収入の増加が寄与、2割弱の增收が継続、通期の売上高見通しは約451億ドルとした。10月30日に株式分割(1→10株)を発表、11月14日が権利付最終日となる。

□**人気作続編やスポーツ強化**: 年後半は「エンスティ」や「ストレンジャー・シングス未知の世界」の人気シリーズを配信予定。スポーツ・コンテンツ強化の一環で26年のWBC(野球)の日本の独占放映権を獲得した。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ

株価(米ドル)	1089 (10/30)
52週高値(日付)	1340.925 (25/06/30)
52週安値(日付)	748 (24/11/01)
時価総額	4,614億ドル
	71兆1,224億円
株価変化率(%)	-3.8 (過去6ヶ月間) 44.0 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	45.4 (倍)
株価売上高比率	10.7 (倍)
PBR	17.8 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	42.9 (%)
株式ペーテ	1.11 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	33,723	7	6,954	23	5,408	20	12.03	0.00
2024/12	39,001	16	10,418	50	8,712	61	19.83	0.00

四半期業績

2024/Q3	9,825	—	2,909	—	2,364	—	5.40	0.00
2025/Q3	11,510	17	3,248	12	2,547	8	5.87	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

クラウドフレア (NET)

上場市場

ニューヨーク

セクター

インターネット・サービス

インターネット上の通信高速化(CDN)やセキュリティ分野で躍進するグロース企業

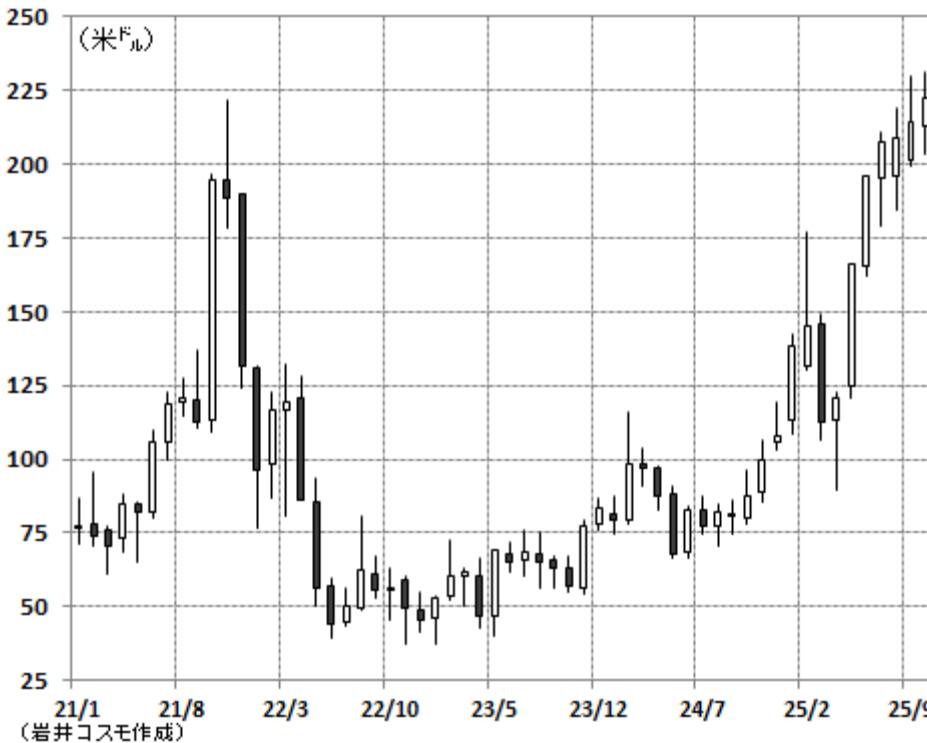
会社概要

Webサイトの脅威や攻撃からの保護、通信遅延の排除による高速化サービスを提供する米IT企業。Webサイトのトラフィックを同社のグローバルネットワークに回送・経由させることで、Webページ配信の最適化や脅威のブロックを自動で行う。APIファーストの考え方で開発者向けに設計。25年9月末時点で29.6万超の有料顧客を抱えるまで成長。本社はカリフォルニア州サンフランシスコ、2019年9月にNY証券取引所に上場。

注目ポイント

□ **独自のネットワークが強み**: 125カ国335都市超に独自のネットワークを保有。全てのサーバーで全サービスを実行できる単一のプログラム可能なプラットフォームが特長で、顧客は各種製品を統合してコスト削減や俊敏性向上を実現できる。ホルシエ、キャンバ、ウーバーなどが同社の顧客。

□ **AI時代の成長戦略**: AIの次なる潮流「エージェント」の最適プラットフォームと見なされ、既に1,300社超のAI企業が顧客となっている。25年は営業体制の変革を続け、開発者向け専門組織「スピードボット」を立ち上げるなど、エンタープライズ市場の開拓を強化し2028年までの売上高50億ドル達成を目指している。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	222.5 (10/30)
52週高値(日付)	231.05 (25/10/30)
52週安値(日付)	85.72 (24/11/04)
時価総額	781億ドル 12兆0,324億円
株価変化率(%)	84.2 (過去6ヶ月間) 153.7 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	N/A (倍)
株価売上高比率	38.3 (倍)
PBR	62.5 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	— (%)
株式ペーテ	1.62 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	1,297	33	-185	赤継	-184	赤継	-0.55	0.00
2024/12	1,670	29	-155	赤継	-79	赤継	-0.23	0.00

四半期業績								
四半期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2024/Q3	430	—	-31	—	-15	—	-0.04	0.00
2025/Q3	562	31	-37	赤継	-1	赤継	-0.00	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

航空宇宙・防衛会社、航空機エンジンから防衛装備品まで手掛ける巨大コングロマリット

会社概要

米国の防衛・航空宇宙関連機器メーカー。旧ユナイテッド・テクノロジーズがエレベータ部門(現オーチス)と空調部門(現キャリア)を分離し、残った防衛・航空宇宙部門が同業のレイセオンと対等合併して誕生。主要事業部門【カッコ内は24年売上構成比】は、コリンズ・エアロスペース・システムズ(航空部品【32%】)、プラット&ホイットニー(航空エンジン【35%】)、レイセオン(センサー、サイバー&ソフトウェア、軍事・防衛【33%】)の3部門からなる。

注目ポイント

□**民生から防衛まで事業は多岐**: 傘下のプラット&ホイットニーはGEアビエーションや英ロールス・ロイスとともに航空機用エンジンの世界ビッグ3の一員でボーイングや欧州エアバス等に供給。軍用部門では世界1位のミサイルメーカーであり、巡航ミサイル「トマホーク」や広域防空用地対空ミサイル「パトリオット」、対戦車誘導ミサイルシステム「ジャベリン」等が有名。

□**次世代ミサイル防衛構想**: トランプ大統領が推進する次世代ミサイル防衛構想「ゴールデンドーム」は、地球の軌道上に衛星と兵器の巨大ネットワークを構築する構想であり、プロジェクト予算の一部が現在、包括法案に盛り込まれ協議中。同社をはじめ、L3ハリスやロッキード・マーチン、パンティアなどが既に契約企業の候補として報じられている。



株価チャート(2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	177.42 (10/30)
52週高値(日付)	181.25 (25/10/28)
52週安値(日付)	112.31 (25/04/07)
時価総額	2,379億ドル 36兆6,644億円
株価変化率(%)	40.7 (過去6ヶ月間) 46.6 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	28.3 (倍)
株価売上高比率	2.8 (倍)
PBR	3.7 (倍)
税前配当利回り(%)	1.53 (直近年率)
配当成長率(%)	7.4 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	10.5 (%)
株式ペーテ	0.73 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	68,920	3	3,561	-35	3,195	-39	2.23	2.32
2024/12	80,738	17	6,538	84	4,774	49	3.55	2.48
四半期業績								
2024/Q3	20,089	—	2,028	—	1,472	—	1.09	0.63
2025/Q3	22,478	12	2,523	24	1,918	30	1.41	0.68

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

パランティア・テクノロジーズ(PLTR)

上場市場

NASDAQ

セクター

アプリケーション・ソフトウェア

防衛から民間大手まで広範に使用可能なデータ分析プラットフォームを提供

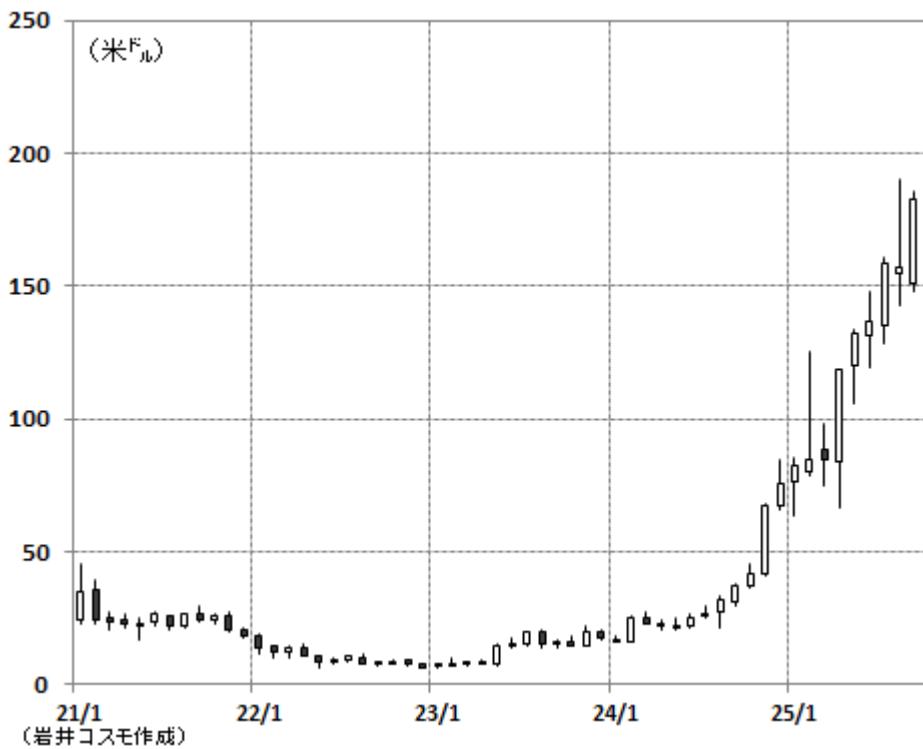
会社概要

データ解析企業。ペイパルの共同創業者ピーター・ティル氏やCEOのアレキサンダー・カーフ氏らが2004年に創業。大量のデータを短時間で解析、抽出できる技術に定評有り。「パランティア」は映画「指輪物語」の何でも見通すことが出来る水晶玉に由来。同社株式は2020年9月に直接上場方式でNYSE上場、24年9月にS&P500指数採用、同年11月にNASDAQに鞍替え、翌12月にNASDAQ100指数に採用された。

注目ポイント

□**祖業はテロ対策**: 2008年に兵士を爆発物から守る目的で米諜報機関向けに「ゴッサム」を開発、ビンラディン容疑者の捜索にも貢献したとされる。無数のデータポイントから現実世界のモデルを構築する能力を得意とし、最近は生成AI技術と統合した。現在は西側の政府機関に各所で広く採用。また民間転用された「ファウンドリー」は2016年に投入、エネルギー(設計)や運輸(生産性向上)、金融(リスク分析)、ヘルスケア(供給網管理)等で世界の約90の業界で導入が進む。

□**高成長要因**: 25年6月の政府・民間顧客数は前年比約4割増の849と急増中。飛躍の要因は、各地の紛争に関連した米政府との新契約や米民間事業の成長加速、生成AIサービス需要の拡大など。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	194.55 (10/30)
52週高値(日付)	199.85 (25/10/29)
52週安値(日付)	40.9 (24/10/31)
時価総額	4,615億ドル
	71兆1,370億円
株価変化率(%)	64.3 (過去6ヶ月間)
	368.1 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	649.2 (倍)
株価売上高比率	131.3 (倍)
PBR	77.8 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	15.3 (%)
株式ベータ	1.84 (対S&P500)

通期業績

決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	2,225	17	120	黒転	210	黒転	0.09	0.00
2024/12	2,866	29	310	159	462	120	0.19	0.00

四半期業績

2024/Q2	678	—	105	—	134	—	0.06	0.00
2025/Q2	1,004	48	269	156	327	144	0.13	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

GEベルノバ(GEV)

上場市場

ニューヨーク

セクター

電力設備

天然ガスダービン等を主力とする電力設備世界大手、「エネルギー転換の巨人」との異名も

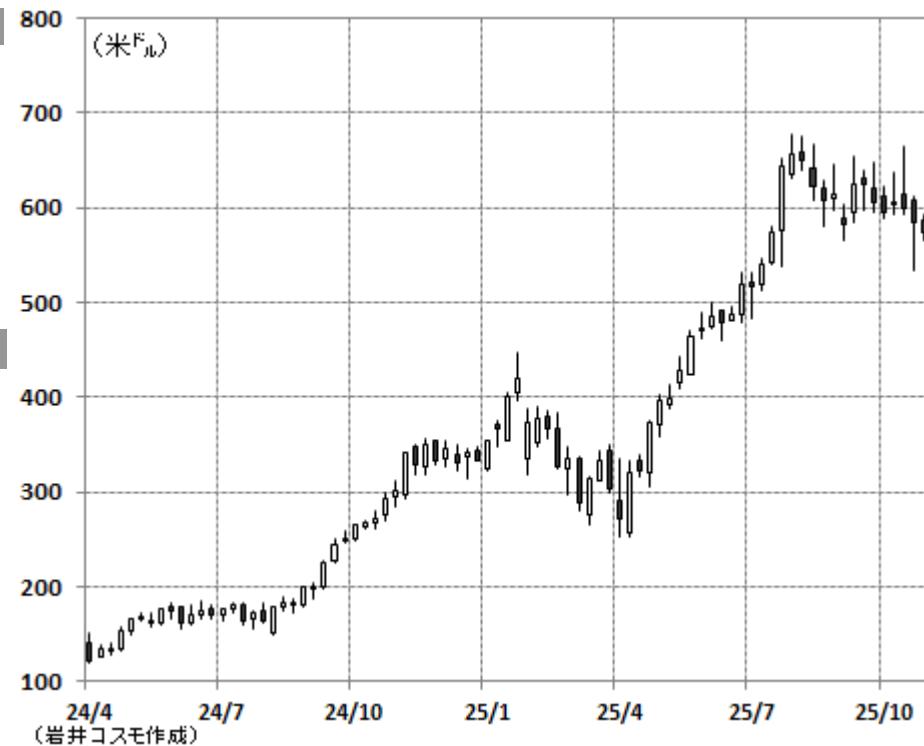
会社概要

トマス・エジソン氏による初の商用発電所建設(1882年)以来、長く発電設備を提供してきた世界的企業。ゼネラル・エレクトリックの組織再編に伴い、24年4月に分社手続きを完了。発電設備以外に送電/変電/蓄電等の電化関連も製造。再生可能エネルギー分野ではガス/原子力/水力/蒸気の発電設備、また風力タービンやブレード等まで取り扱う。100カ国超で製品展開、社員数は約75,000名(25年10月)。

注目ポイント

□「エネルギー転換の巨人」: GEベルノバは発電から送配電、再生可能エネルギー分野までエネルギー転換に必要な要素を幅広くカバーし、グローバル展開できる規模と技術力を持つ企業として「エネルギー転換の巨人」と評価する声も聞かれる。

□業績好調: 7-9月期は風力不振も電力・電化が補い、売上高は前年同期比12%増。受注も55%増と好調で受注残は1,353億ドルに達す。事業の安定性は高く、電力事業は売上の7割がサービス収入で、発電源別では天然ガス関連が多い。電化事業は売上高が同35%増、通期見通しも「25%増収」傾向へ引き上げ。旺盛な電力需要が継続し、プロレックGEの完全子会社化で電化事業を更に強化する。



株価チャート(分離上場来・週足)

株価データ	
株価(米ドル)	574.07 (10/30)
52週高値(日付)	676.98 (25/07/31)
52週安値(日付)	252.5 (25/04/04)
時価総額	1,558億ドル 24兆0.068億円
株価変化率(%)	54.8 (過去6ヶ月間) 90.3 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	85.3 (倍)
株価売上高比率	4.2 (倍)
PBR	18.0 (倍)
税前配当利回り(%)	0.17 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	18.8 (%)
株式ペーテ	— (対S&P500)

通期業績							
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	営業利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)
2023/12	33,239	12	-923	赤継	-438	赤継	-1.60
2024/12	34,935	5	471	黒転	1,552	黒転	5.58

四半期業績							
2024/Q3	8,913	—	-359	—	-96	—	-0.35
2025/Q3	9,969	12	366	黒転	452	黒転	1.64

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

世界有数のグローバル総合金融グループ。投資銀行、証券取引、資金決済、資産運用、プライベートバンキング、商業銀行等の各種サービスを提供。機関投資家向け事業を「JPモルガン」ブランドで、中小企業・個人向け事業を「チーズ」ブランドで展開する。総資産、収益力、時価総額で世界屈指の規模を誇る。本社はニューヨーク市、従業員数は318,153人(25年9月末)。NYダウ工業株平均構成銘柄。

注目ポイント

□ **業界で一早くAIを活用**: 同行はAIを業界内で一早く取り入れ、業務効率の向上、リスク管理の強化、顧客体験の改善等を通じて最終的にROEなどの資本効率の高さに貢献していると見られる。具体的に法的文書の分析自動化ツールによる費用削減や決済システム上の異常取引の感知、迅速な回答が可能なコールセンター運営等がある。

□ **今年も株主還元を強化**: 7月1日のFRBストレステスト結果公表後、7.1%の増配(四半期配当1.40→1.50ドル)と、500億ドルの自社株買いを発表した。FRBは10月に同行に義務付けるストレス資本バッファード(SCB)を従来の3.3%から2.5%に引き下げる予定。資金運用等の面で経営の自由度が増す格好となる。



株価チャート (2021年以降・月足)

株価データ	
株価(米ドル)	309.44 (10/30)
52週高値(日付)	318.01 (25/09/29)
52週安値(日付)	202.16 (25/04/07)
時価総額	8,509億ドル 1,311,467億円
株価変化率(%)	26.5 (過去6ヶ月間) 39.4 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	15.4 (倍)
株価売上高比率	3.1 (倍)
PBR	2.5 (倍)
税前配当利回り(%)	1.94 (直近年率)
配当成長率(%)	20.7 (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	17.1 (%)
株式ペーテ	1.10 (対S&P500)

通期業績								
決算期	純営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	158,104	23	61,612	33	47,760	33	16.23	4.05
2024/12	177,556	12	75,081	22	56,868	19	19.75	4.60

四半期業績							
2024/Q3	42,654	—	16,978	—	12,898	—	4.37 1.25
2025/Q3	46,427	9	18,743	10	14,393	12	5.07 1.50

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

社名(ティックマーク)

ロビンフード・マーケット(HOOD)

上場市場

ナスダック

セクター

ウェルスマネジメント

米国の若者を惹きつける株式・仮想通貨等の総合金融プラットフォーマー

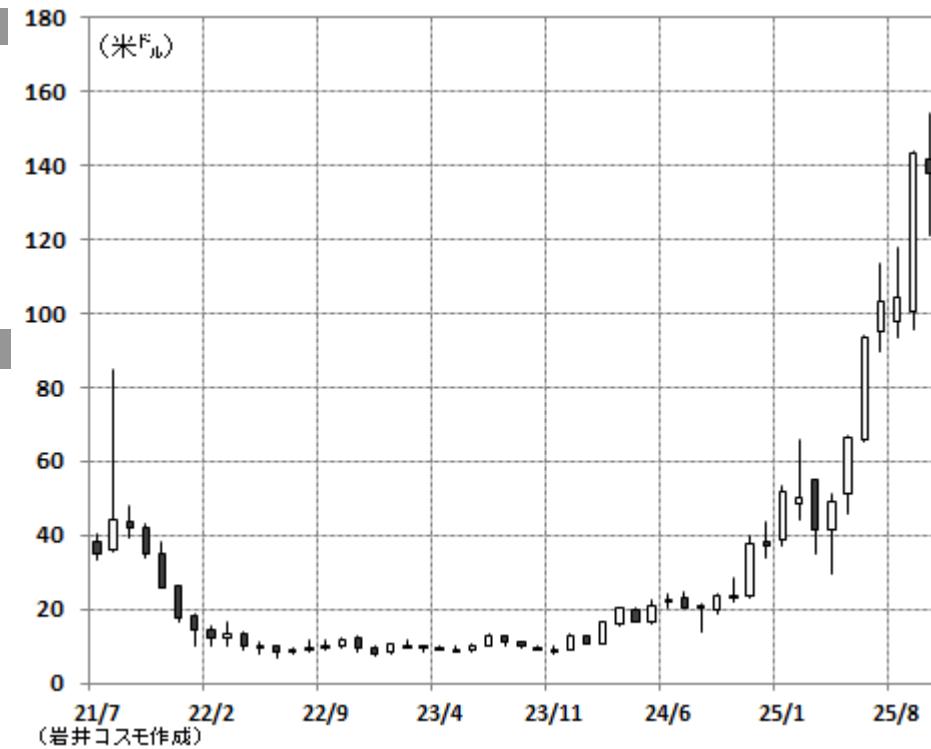
会社概要

手数料無料の株式・ETF・暗号資産取引アプリを提供するフィンテック企業。「金融の民主化」を掲げ、直感的なアプリでミレニアル・Z世代の投資参入のハトルを下げる。顧客の注文をマーケットメーカーに回送する見返りに対価を得るPFOF(ペイメント・フォー・オーダー・フロー)を主な収益源とするビジネスモデルを特徴とする。本社はカリフォルニア州メンロパーク、24年末の社員数は約2,300名、2021年7月にナスダックに上場。

注目ポイント

□**多様な商品提供で若年層を開拓**: 株式に加え仮想通貨、オプション、IRA(個人退職勘定)などのサービスを多角化。直感的でゲームのようなアプリがミレニアル・Z世代の支持を集め、個人投資の民主化を象徴するブランドとして高い知名度を誇る。

□**仮想通貨取引が収益の大きな柱に**: 仮想通貨市場の活況により、ユーザー取引が活発化し、関連収益が急増。24年後半からの25年前半にかけての決算では前年同期比で数倍に増加、総収益の30%超を占める四半期も見られ、最大の業績牽引役となっている。6月にはEUで株式トーカンの提供を開始、米国以外の展開も進めている。



株価チャート(上場来月足)

株価データ	
株価(米ドル)	138.07 (10/30)
52週高値(日付)	153.83 (25/10/06)
52週安値(日付)	23 (24/11/01)
時価総額	1,227億ドル 18兆9,117億円
株価変化率(%)	181.1 (過去6ヶ月間) 487.8 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)	
実績PER	71.4 (倍)
株価売上高比率	34.2 (倍)
PBR	15.2 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	23.5 (%)
株式ペーパー	2.19 (対S&P500)

通期業績								
決算期	売上高 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	1,865	35	-533	赤継	-541	赤継	-0.61	0.00
2024/12	2,951	58	1,064	黒転	1,411	黒転	1.56	0.00
四半期業績								
2024/Q2	682	—	191	—	188	—	0.21	0.00
2025/Q2	989	45	442	131	386	105	0.42	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようにお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

会社概要

米カリフォルニア州拠点のフィンテック企業。学生・個人・住宅ローンや銀行業務、投資、クレジットカード等の金融サービスを単一プラットフォームで提供。2011年創業。事業は貸付、テクノロジー・プラットフォーム、金融サービスの3部門で構成、AI活用を進めつつ若年層を中心に顧客を拡大。ソフトバンクGが出資(3.8%保有・上位株主)、21年にSPAC(特別買収目的会社)経由でナスダック上場。25年内に暗号資産売買サービスを再開予定。

注目ポイント

□**銀行免許取得等を通じて事業多角化**: 主力は個人・学生・住宅ローンで、有利な金利を提供。銀行口座(SoFi Money)や株式投資(SoFi Invest)、クレジットカードも展開。銀行免許取得で自己資金による貸付が可能となり金利収益を最大化。テクノロジー部門では買収した「Galileo」や「Technisys」を通じ、他社に決済等の基盤システムも提供する。

□**トランプ政権の政策が追い風**: トランプ政権下の税制で政府の学生ローンに上限が設けられ、柔軟な返済計画も廃止。これにより政府ローンが使いにくくなった学生等が民間の融資機関へ向かう可能性がある。根強い借入需要を背景に、同社の主力事業である学生ローン事業の追い風になっているとみられる。



株価チャート(上場来・月足)

株価データ

株価(米ドル)	29.03 (10/30)
52週高値(日付)	32.565 (25/10/29)
52週安値(日付)	8.68 (25/04/07)
時価総額	348億ドル 5兆3,579億円
株価変化率(%)	132.1 (過去6ヶ月間) 159.9 (過去1年間)

株価指標(バリュエーション)

実績PER	53.7 (倍)
株価売上高比率	7.3 (倍)
PBR	4.0 (倍)
税前配当利回り(%)	無配 (直近年率)
配当成長率(%)	— (過去1年間)
株主資本利益率(ROE)	8.6 (%)
株式ペーテ	1.80 (対S&P500)

通期業績

決算期	純営業収益 (百万ドル)	前同比 (%)	税引前利益 (百万ドル)	前同比 (%)	当期利益 (百万ドル)	前同比 (%)	1株利益 (ドル)	配当 (ドル)
2023/12	2,123	35	-301	赤継	-301	赤継	-0.36	0.00
2024/12	2,675	26	233	黒転	499	黒転	0.39	0.00

四半期業績

2024/Q3	697	—	64	—	61	—	0.05	0.00
2025/Q3	962	38	149	2.3倍	139	2.3倍	0.11	0.00

(会社資料等各種資料より岩井コスモ証券作成)

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

■商号等

商号等: 播陽証券株式会社

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第29号

加入協会:日本証券業協会

取引注意事項

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265%（税込み、ただし最低2,750円）の委託手数料をご負担いただきます。
- ②上場外国株券等委託取引の際には、約定代金（円貨）が7.5万円以下の場合は11.0%（税込）、7.5万円超50万円以下の場合は8,250円（税込）、50万円超の場合は最大で（約定代金の1.00%+2,500円）×1.1（税込）の委託手数料加算額、その他に現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。

- ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。

- ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。

販売手数料（購入価額に対して最大3.85%（税込））

信託財産留保額（換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%）

信託報酬（信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%（税込））

その他、ファンドの監査費用等

◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

○当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

○当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。

※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。

○当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。